



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 ソノコム

上場取引所 東

コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 清啓

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 宮寺 利宗

TEL 03-3716-4101

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	534	15.5	103	52.0	111	66.8	95	60.6
29年3月期第1四半期	462	11.5	68	6.0	66	22.5	59	35.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	26.07	
29年3月期第1四半期	15.20	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,404	7,501	89.3	2,046.80
29年3月期	8,227	7,414	90.1	2,023.09

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 7,501百万円 29年3月期 7,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	7.1	300	18.0	360	1.9	320	2.2	87.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	5,000,000 株	29年3月期	5,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,335,036 株	29年3月期	1,335,036 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	3,664,964 株	29年3月期1Q	3,914,964 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しが進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方世界経済は、欧米経済では景気回復が持続するものの、米国の政策運営や英国のEU離脱問題等、先行きは不透明な状況にあります。

スクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連向けの部品の需要拡大により出荷額が増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、製品売上高5億7百万円（前年同期比17.7%増）、商品売上高26百万円（前年同期比15.0%減）となり、売上高合計5億34百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加の影響により、営業利益1億3百万円（前年同期比52.0%増）、経常利益1億11百万円（前年同期比66.8%増）、四半期純利益95百万円（前年同期比60.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用や受動部品用の売上が堅調に推移し、売上高4億11百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益1億45百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

②フォトマスク

当セグメントにおきましては、受動部品用の売上が堅調に推移し、売上高96百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益については46百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、スクリーン印刷関連商品の売上が減少したことにより、売上高26百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント利益5百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、1億76百万円増加して84億4百万円となりました。負債は、89百万円増加して9億2百万円となりました。純資産は、86百万円増加して75億1百万円となり、その結果自己資本比率は、89.3%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383,091	3,381,252
受取手形及び売掛金	525,105	615,147
有価証券	97,683	106,321
商品及び製品	3,126	2,630
仕掛品	48,451	54,957
原材料及び貯蔵品	67,190	68,880
その他	63,229	81,741
流動資産合計	4,187,878	4,310,929
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	632,036	623,155
機械及び装置（純額）	92,786	104,530
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	33,791	44,073
建設仮勘定	24,950	24,950
有形固定資産合計	2,174,074	2,187,219
無形固定資産	3,926	18,214
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583,754	1,608,044
その他	277,997	279,825
投資その他の資産合計	1,861,751	1,887,869
固定資産合計	4,039,753	4,093,303
資産合計	8,227,631	8,404,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,644	212,082
未払法人税等	55,398	33,931
引当金	47,177	59,008
その他	140,394	181,320
流動負債合計	405,614	486,343
固定負債		
退職給付引当金	11,796	12,404
役員退職慰労引当金	371,720	374,120
繰延税金負債	23,931	29,932
固定負債合計	407,447	416,456
負債合計	813,062	902,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	5,846,444	5,916,346
自己株式	△825,151	△825,151
株主資本合計	7,352,592	7,422,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,976	78,938
評価・換算差額等合計	61,976	78,938
純資産合計	7,414,569	7,501,433
負債純資産合計	8,227,631	8,404,233

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	462,648	534,505
売上原価	293,401	316,676
売上総利益	169,247	217,828
販売費及び一般管理費	100,864	113,883
営業利益	68,382	103,945
営業外収益		
受取利息	5,240	7,381
その他	1,118	245
営業外収益合計	6,359	7,627
営業外費用		
為替差損	7,868	13
その他	0	31
営業外費用合計	7,868	44
経常利益	66,874	111,528
特別利益		
受取弁済金	4,048	8,129
特別利益合計	4,048	8,129
税引前四半期純利益	70,922	119,658
法人税、住民税及び事業税	11,424	25,814
法人税等調整額	—	△1,713
法人税等合計	11,424	24,101
四半期純利益	59,497	95,557

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	340,175	91,249	431,425	31,223	462,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	340,175	91,249	431,425	31,223	462,648
セグメント利益	105,904	42,161	148,066	5,772	153,838

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,066
「その他」の区分の利益	5,772
全社費用（注）	△85,456
四半期損益計算書の営業利益	68,382

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	411,630	96,318	507,949	26,555	534,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	411,630	96,318	507,949	26,555	534,505
セグメント利益	145,591	46,682	192,274	5,892	198,167

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	192,274
「その他」の区分の利益	5,892
全社費用 (注)	△94,221
四半期損益計算書の営業利益	103,945

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。